

金沢大学創基150年記念事業「講演会・シンポジウム」シリーズ「アカデミア創薬の心・技・体」を開催

2013年2月15日

2月14日(木)～15日(金)の両日、金沢エクセルホテル東急において、アカデミア発の創薬研究の意義と進展を理解するとともに、社会に大きな影響を与えた創薬科学者の心を理解すべく、シンポジウム「アカデミア創薬の心・技・体」を開催しました。

今回のシンポジウムは、がん進展制御研究所と富山大学和漢医薬学総合研究所との第3回目のジョイントセミナーを兼ねており、文部科学省認定の共同利用・共同研究拠点として、両研究所における最新の研究成果が報告されました。

また、シンポジウム1日目には、奇跡の薬と呼ばれる高脂血症治療薬「スタチン」を発見し、アメリカのノーベル生理学医学賞とも言われるラスカー医学賞を受賞された本学客員教授である遠藤章先生から、2日目にはスパコン「京」を利用して医薬品を創る「IT創薬」や福島原発事故を巡る政府の放射能汚染への対応を厳しく批判したことで知られる東京大学の児玉龍彦先生から、それぞれ特別講演をいただきました。特別講演のお二人からは、研究者としての心構えや創薬研究の将来を示唆されるなど、大変貴重な価値ある教訓や提言をいただきました。

シンポジウムには、学内外の研究者や大学院生、一般市民等2日間で延べ約140人が参加し、創薬研究に関する最新の研究成果等について、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



シンポジウム会場玄関



開会挨拶：中村 信一 金沢大学長



がん進展制御研究所
松本 邦夫 教授



大阪大学大学院基礎工学研究科 客員教授
塩野義製薬(株) Global Development Office
坂田 恒昭 先生



独立行政法人医薬品医療機器総合機構
矢守 隆夫 審査センター長



東京大学創薬オープンイノベーションセンター
特任教授 岡部 隆義



富山大学和漢医薬学総合研究所
東田 千尋 准教授



会場内の様子



特別講演1：(株)バイオフーム研究所 代表取締役所長
遠藤 章 先生



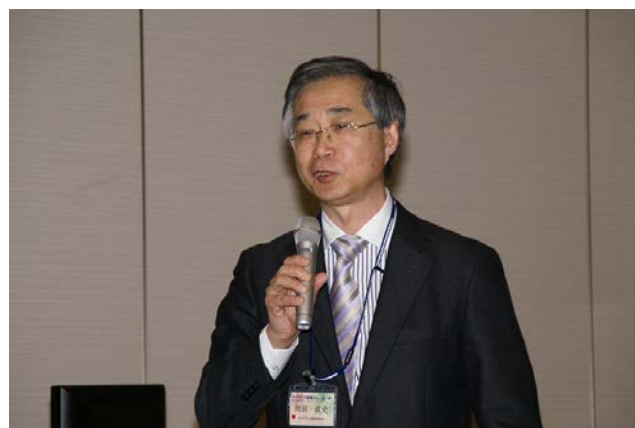
九州工業大学情報工学部
青木 俊介 准教授



大阪府立大学大学院理学系研究科
木下 誉富 准教授



特別講演2：東京大学先端科学技術センター 教授
東京大学アイソトープ総合センター長
児玉 龍彦 先生



閉会挨拶：向田 直史 がん進展制御研究所長



アカデミア創薬の心・技・体

第3回和漢研・がん研ジョイントセミナー

日時 2013年2月14日(木) 午後～2月15日(金) 午前

場所 金沢エクセルホテル東急(金沢市香林坊2-1-1)

主催 金沢大学、富山大学和漢医薬学総合研究所、金沢大学がん進展制御研究所

プログラム

1日目 2月14日(木)

13:20～13:30 開催の挨拶 金沢大学長 中村 信一

第一部

13:30～14:00 『シンポジウムの序：生理活性タンパク質・医薬・ベンチャー』
金沢大学 松本 邦夫

14:00～14:40 『オープンイノベーションによる画期的新薬の創生 アカデミア創薬への期待』
大阪大学・塩野義製薬 坂田 恒昭

14:40～15:20 『日本発の医薬品創出へ向けて－アカデミア・PMDAの取り組み』
医薬品医療機器総合機構 矢守 隆夫

休憩 15:20～15:30(10分)

15:30～16:10 『創薬オープンイノベーションネットワークの構築』
東京大学 岡部 隆義

16:10～16:50 『伝統薬物をベースとしたアカデミア創薬』
富山大学 東田 千尋

休憩 16:50～17:00(10分)

特別講演1

17:00～18:00 『スタチンの発見と創薬の心』
バイオフาร์ม研究所所長 遠藤 章

2日目 2月15日(金)

第二部

9:10～9:50 『フリーツールを活用した低コスト化合物バーチャルスクリーニング技術』
九州工業大学 青木 俊介

9:50～10:30 『構造生物学と創薬』
大阪府立大学 木下 誉富

休憩 10:30(20分)

特別講演2

10:50～11:50 『予測の科学：IT創薬と福島事故から考えること』
東京大学 児玉 龍彦

11:50～12:00 閉会の挨拶 金沢大学 向田 直史

連絡先

金沢大学医薬保健系事務部薬学・がん研支援課研究協力係
TEL: 076-264-6702 FAX: 076-234-4527
E-Mail: y-kenkyo@adm.kanazawa-u.ac.jp